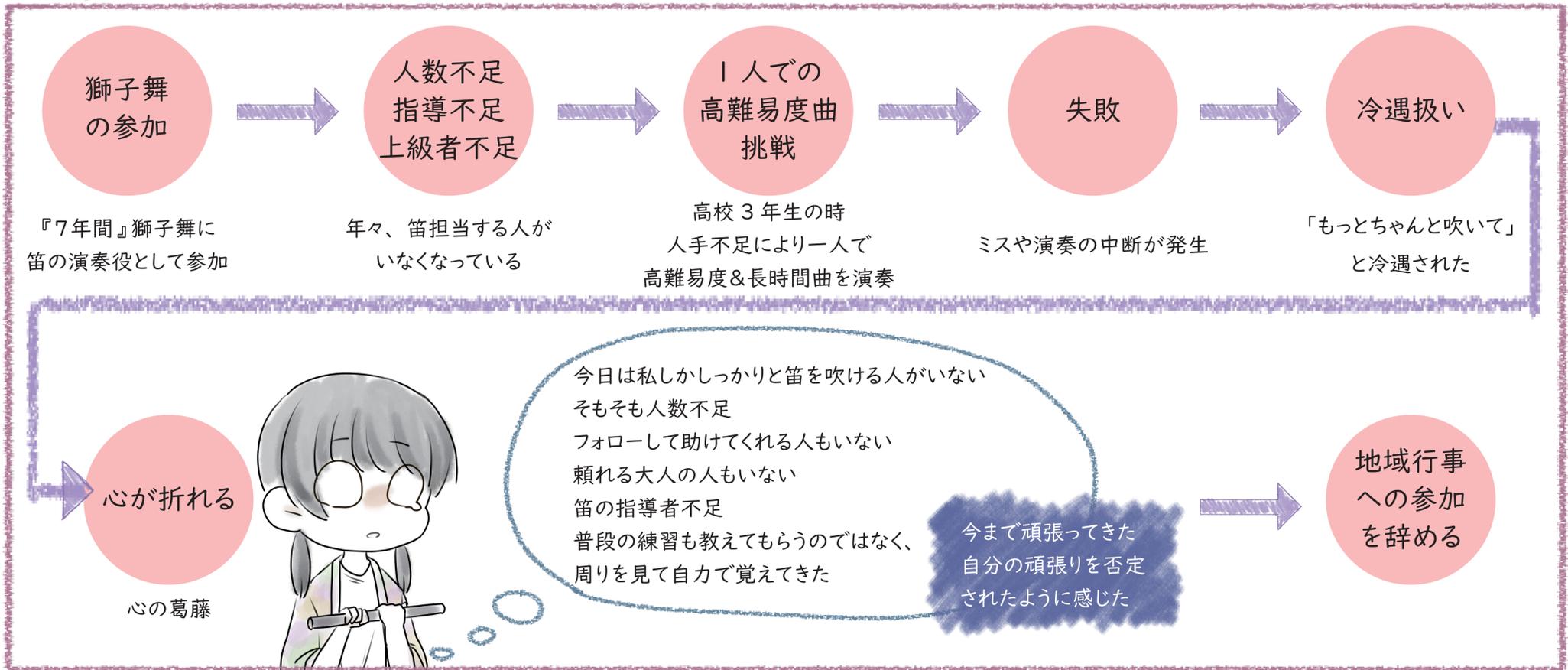
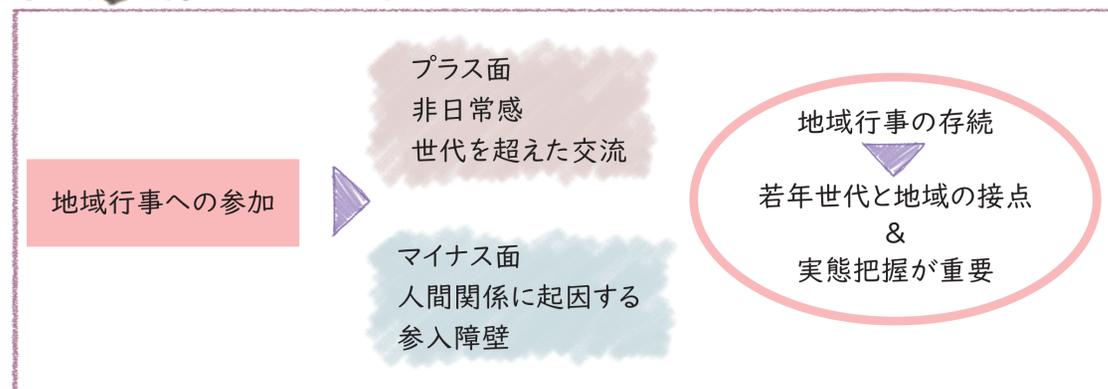


若年世代の地域行事の参加や 地域活動を促す方策に関する研究

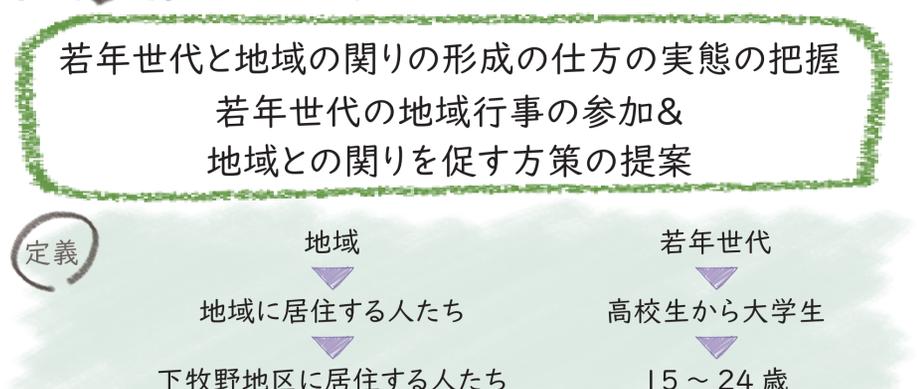
研究の動機



体験から感じたこと



研究の目的



仮説

- 1 地域行事に興味を失っている人が多い
- 2 伝統への思いから指導体制が厳しく若者が辞めてしまう
- 3 指導側と参加者側でコミュニケーションロスが起きている

研究方法

研究対象者

対象者
富山県高岡市下牧野地区の獅子舞に参加している人達
10人
調査期間
2021年10月14日から2021年11月9日

データ収集方法

2021年10月14日から11月9日に下牧野の獅子舞の地域行事に参加していた方を対象に獅子舞を始めたきっかけ、辞めた理由についてインタビュー調査を行った。

分析方法

インタビュー調査で得られたデータをもとに仮説の検証をするため、獅子舞の地域行事への参加理由や継続理由についてまとめと分析を行う。
インタビュー内容をテキスト化し、対象者別かつ時間軸で整理した配役、参加の動機(促進要因・阻害要因)を年表形式で整理する。

調査結果

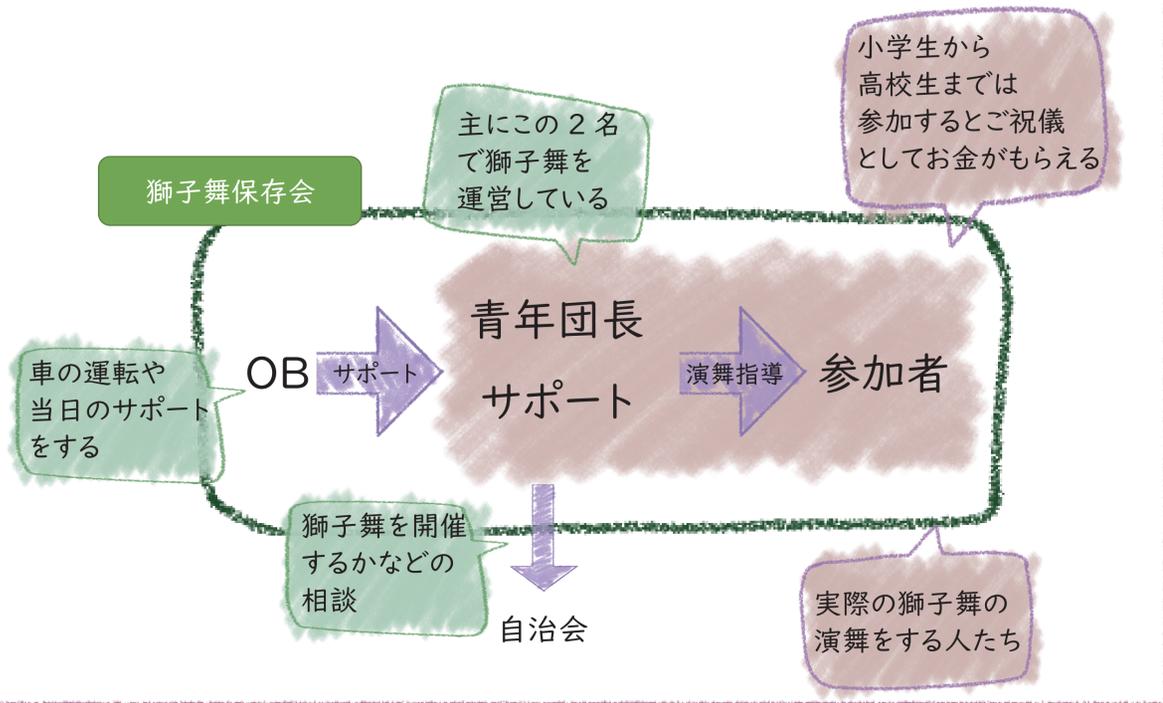
下牧野地区の獅子舞年表

1944以前 獅子舞が始まる
1982くらい 獅子舞が無くなる
1992くらい 獅子舞の復活
2006くらい 獅子舞の運営の世代交代1回目
2014くらい 獅子舞の運営の世代交代2回目
2020 コロナウイルスにより休止



調査結果

下牧野の獅子舞保存会は多くの人たちとの関りから成り立っている



それぞれの世代の思い

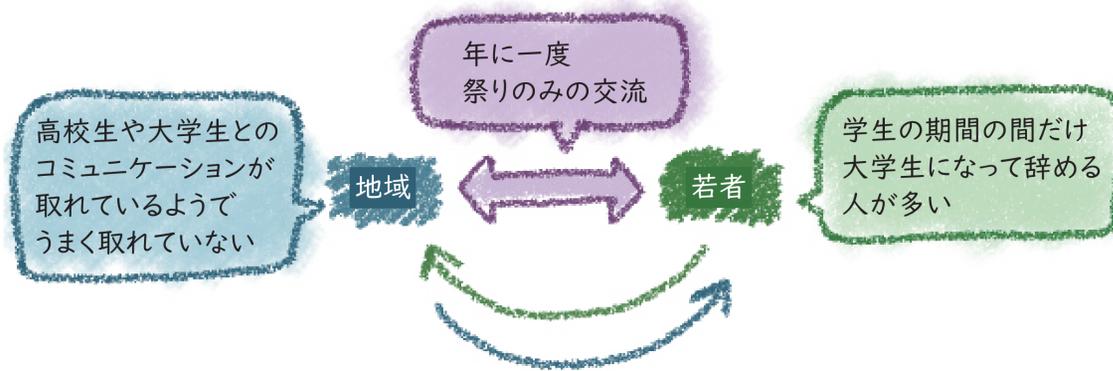
- OB 世代**
 - 同級生たちと獅子舞で騒ぐことが楽しい
 - 世代交代として獅子舞を継承して続けていかねば
- 現役活動世代**
 - 獅子舞をすることが楽しい
 - 隣地区の演舞も混ぜていく人が足りず運営が大変
 - コロナウイルスなど今後の懸念
- 学生世代**
 - 非日常感や交流が楽しい
 - 厳しい指導で辞めていく人も指導側とのすれ違い
 - 辞めたくても辞めれない

目的に関する考察

若年世代と地域との関わり方の実態として、世代間を超えた交流は年に一度の祭りの時期のみであった。

地域から若者世代へのコミュニケーションは上手につながっているように感じているが、若者世代は指導が厳しくて辞める人や意思疎通が上手くいっておらず違和感を覚えた人が存在していた。

このような要因から、若者世代の多くは進学や就職を機に獅子舞への参加を辞めるのだと考えられる。



仮説に対する考察

仮説1:
若年世代は地域行事に興味を失っている者が大多数である。なぜならば、参加者が少ないことにより負担する労力が大きく、また、指導体制も整っていないため成長する機会も乏しいと感じているから。

調査結果に基づくと…
地域行事に興味を失っている者：1/10名
→(大多数ではない)

その理由は?

獅子舞という伝統やそのものが好き
獅子舞を通じて騒ぐ・交流するのが好き

好き>労力負担・成長機会の乏しさ

の構図だった

仮説2:
指導者側による伝統への誇りや獅子舞への思いが強いため、指導体制が厳しくなりやすいと感じる。なぜならば、学生たちが行事に参加しても長い間続けることが出来ずに辞めてしまうから

調査結果に基づくと…
厳しい指導を受けた：1/5名(学生)
→厳しいと感じる人がいた

しかし、
胴幕→実際に厳しい指導をされた、一緒に参加していた友達が厳しい指導で辞めた人もいたという
キリコ→稽古でお菓子をもらっていた
笛役→そもそも指導された(教えてもらった)ことがない

など役割ごとに指導体制が違うことがわかった

仮説3:
指導者側と参加者側でコミュニケーションロスがおこっている。なぜならば、指導者側から学生への指示が明確化がされていないため上手く統率をとることが出来ていないように感じたから

調査結果に基づくと…
笛役とのコミュニケーションが取れていない

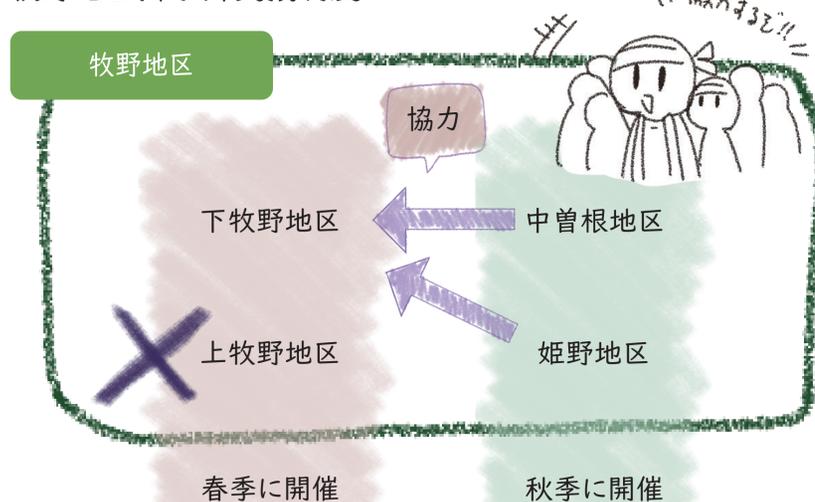
その理由は?

指導者が不在により、学生が教えることになっていたり詳しい伝達が行われていなかった

厳しい指導だと感じる人やそうでいない人
指導をされていない役割など
笛役だけでなく全体的にコミュニケーションロスが起きているのかもしれない

提案

牧野地区獅子舞支援制度



牧野地区の中には複数の地区が存在しており、幾つかの地区が獅子舞を行っている。大きく分けて春季と秋季に開催しており、互いが開催していない時期に協力することで人数不足を緩和させる。これにより、大きな地区の団体としての友好関係を築くことが出来る。また、経験者から技術を教えてもらう機会が増え多くの人々がさらなる技術の向上や次世代に伝えていくためのつながりが作りやすくなる。と考える。

下牧野地区の獅子舞について

笛役 キリコ 胴幕 天狗

関わりのあるようでない4つのグループからランダムにグループ分けなどをして、週に一度目標決めからの達成報告やお互いを気にかけて良かったところをいうなど会話を生み出してこの人は知らない、話しかけづらいという状況をなくしていくことを検討したい。

